

北海道学び推進月間の取組

渡島教育局
令和2年12月4日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

確かな読みの力を育てる学習指導の工夫

七飯町立峠下小学校では、子どもたちに確かな読みの力を育むため、朝学習の時間を活用して視写に取り組んでいます。

この取組は、手本となる文章を正確に読み取るとともに、文章を音読しながら丁寧に視写することで、言葉がもつよさの認識や、言語感覚を磨き、文章を読み取る力につなげることを目的としています。

また、文章を理解する場合に、そこで使われている言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えることができるようになり、読書への意欲の向上につながっています。

この取組を継続したことで、文章を基に「考える力」「想像する力」及び「表す力」が向上するとともに、主体的に文章を読み取ろうとする姿がより多く見られるようになりました。



【朝学習での視写の様子】

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

「地域を題材にした探究的な学び」(松前学)における体験的な学習の実施

松前高校では、地域について幅広く学ぶことで、郷土を愛する心を育みながら、自ら学ぶ力と応用力を身に付けることを目標として「松前学」に取り組んでいます。

11月9日に1学年が取り組んだ江良八幡神社杵振舞体験は、演奏や演舞の体験を通して、生徒が伝統文化の意義や文化継承の重要性を理解することを目的としています。

生徒は、保存会の方々から、杵の扱い方や太鼓、龍笛など楽器の演奏法を学び、保存会の一員である2名の生徒の演技を手本にしながら熱心に取り組んでいました。

体験した生徒からは、「大人になっても機会があれば続けたい。」といった声もあり、郷土に対する愛着を深めるとともに、松前の歴史や郷土芸能に対する興味・関心を高める学習となりました。



【江良杵振舞披露の様子】

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道函館聾学校中学部1年 山田リノアさん

「一歩ずつ 自分の速さで 努力しよう」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 北斗市立萩野小学校5年 山本真緒さん

「叶えたい 学びは夢の 第一歩」

函館市立旭岡小学校6年 酒井ちひろさん

「本を読み 行ける世界は 無限大」

北海道松前高等学校2年 松村里花さん

「この努力 明日へ一歩 ふみだせる」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。